

令和6年度 立川市立第四小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	◎みんなと つくる	○みんなと つたえあう	○みんなと みとめあう
---------	-----------	-------------	-------------

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
<ul style="list-style-type: none"> 主体性、思考力・判断力・表現力 見通しをもち、最後までやりぬく力 生きて働き、活用できる各教科の基礎的・基本的な知識や技能の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 児童がより主体的に取り組み、考えるための手だてと価値付けのある授業づくり カリキュラムマネジメントの充実 一人1台のタブレットPCを活用した授業づくり

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが相手に分かるように伝える力 考えを表現したり、文章を理解したりするために必要な言語力 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書いたり、言葉で表したりする機会を増やし、友達と伝え合うことを通して身に付けられるようにする。特に低学年では、語と語や文と文のつながりに注意しながら内容のまとまりが分かるように伝えること、中学年では、相手や目的に応じて自分の考えを伝えること、高学年では、自分の考えが明確になるように構成を考えて伝えることを目標にする。 書ける漢字を増やしていくために、自ら漢字について学習したいと思える仕掛けづくりをする。 主語と述語の関係や修飾関係をおさえることに加え、辞書を活用し、語彙の拡充を図り、言語力を高める。 叙述を基に、文章を読み解く力を高める。 読書量を増やすために学校図書館を活用していき、さらには読書を通して語彙量も増やしていく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象について自分事として捉え、問いを見いだす力 地理的環境に関する基礎的な知識 資料の特徴に応じて、情報を読み取る技能 必要な情報を吟味して関連付ける中で、自分の考えを構築し、判断（意思決定）する力 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象の現状が分かったり、身近に感じられたりするような資料の精選・提示をして、問いを見いだせるようにする。 地図記号、方位、都道府県名、世界の大陸名とおもな海洋名などについては、学習内容と関連付けながら、その都度、地図帳や地球儀などを活用して各学年で繰り返し調べる活動を通して、身に付けられるようにする。 課題解決に必要な資料の特徴に応じて、具体的な資料の読み取り方や視点（位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係等に着目する）を指導し、資料のどこを見て、どのようなことが分かるか考えられるようにする。 社会的事象相互の関連（生産者販売者の工夫と消費者の工夫との関連、関係機関の相互の連携や協力など）や意味（社会的・歴史的な事象の社会における動き、国民にとっての役割、など）を考えさせ、そこから見いだすことのできるよさや課題を考える活動を設定する。さらに自分たちができることを考えたり、意見をまとめたりする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識や技能（計算力、単位、図形の名前、特徴等） 問題解決への見通しをもち、思考の過程を表現する力 新たに身に付けた知識・技能をもとに根拠をもって統合的・発展的に考える力 	<ul style="list-style-type: none"> 四則演算の技能の定着を図るよう、四小タイムなどを活用して継続して計算の演習問題に取り組みできるようにする。また、課題のある単元の復習テストを実態に応じて行う。 問題場面をきちんと把握するためにも図に表す習慣を身に付けさせ、図をもとに立式できるようにする。授業の中で互いの考えを共有する時間を確保する。 問題解決に必要な条件を見だし、適切に使うことができる力を伸ばしていけるような課題を授業の中で設定していく。

理科	<ul style="list-style-type: none"> 実験器具や用具を安全に正しく使う技能 根拠のある予想や仮説をもち、自分の予想や仮説を確かめる方法を表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で取り扱う実験器具や用具の正しい名称や使い方を指導し、全員が実験器具に触れる機会と時間を確保し、技能を身に付けられるようにする 既習の内容や日常的な事象を根拠に予想や仮説を立ててノート等に記述するよう指導するとともに、考えを共有する活動を設定することで、根拠をもった説明ができるようにする。 予想や仮説を立てる際は、観察や実験で検証可能なものかという視点をもたせることで、児童自らが見通しをもって観察・実験の計画を考えられるようにする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事象に注目する力 地域に関わる人々や様子に関心をもつ力 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然や植物を観察し、育てる活動を通して、特徴や様子、変化の発見の仕方を場面に合わせて繰り返し取り組ませる。 学校生活に関わる地域の人々の活動に触れ、地域の人々との交流を深めることで、自分が住む町のよさについても考えられる機会にする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱・器楽・音楽づくりの基礎的な技能 すすんで音楽に関わり、思いをもって表現したり、音楽のよさを見つけて、味わって聴いたりする力 	<ul style="list-style-type: none"> 常時活動を生かして基礎・基本の充実を図る。 ペアやグループ学習を取り入れ、互いに学び合いながら身に付けられるようにする。 「聴いて感じ取ったこと」と「楽譜に記されていること」等を結びつけながら楽曲への理解を深め、表現の工夫に思いや意図をもって主体的に取り組めるようにすると共に、音楽を味わって鑑賞できるようにする。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 造形的な特徴や材料等を基に、発想や構想をし、自分の思いを表す力 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な用具の基本的な扱い方を身に付けたり、材料選択の経験を積み重ねたりすることで、発想や構想する力を伸ばす。 自分や友達の思いを知る場面を設定し、互いに認め合いながら、表したいものを表せる喜びを味わえるようにする。 形や色、材料の質感、手や体全体を動かせる感覚等を意識させながら、活動させることで表したいことや表し方等について考えられるようにする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を家庭生活に生かす力 生活をよりよくしようと工夫する力 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で実践的に活動したことを活用し、家庭での実践計画を立てられるようにする。 家庭の仕事を継続して行えるように、活動を紹介するなど、児童の意欲付けをする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 様々な場面で活用できる基礎的な技能 運動についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画を基に、様々な領域の運動をより一層バランスよく経験できるようにする。 基礎感覚を育むような運動に低学年から継続的に取り組ませる。 動きや技のポイントを見付けて言語化し、共有する活動を1年生から積み重ねる。 学習カードを活用し、自己の課題について思考し判断したことを文章で表す活動を積み重ねる。 評価の規準を教員も児童も共有することで、指導と評価の一体化を図る。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、質問に答えたりする力 アルファベットの大文字、小文字を正しく書いたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したりする力 文字を識別し、読む力 	<ul style="list-style-type: none"> 毎單元ごとに関連する英語の歌やグループ、ペアワークなど多様な活動を取り入れ学習に変化をもたせながらコミュニケーション活動を増やしていき、自信をもって会話ができるようにする。 帯活動としてアルファベットを書く時間を設定し、アルファベットに親しめるようにする。 フォニックスを活用し、音と文字を一致させてアルファベットを識別できるようにする。